

安全報告書

2019 年度

有限会社スカイオート



安全方針

有限会社スカイオートは、輸送の安全の確保が自動車輸送事業者の社会的使命と深く認識し、社員全員に輸送の安全確保が最も重要であるという意識の徹底を図り安全マネジメント体制の維持、継続的な改善に努めるため、次のとおり安全方針を定める。

- 1、組織、従業員が活性化する為の企業風土を構築し安全に関する知識を高め、関係法令を遵守し安全安心な輸送を図る。
- 2、安全マネジメントに関する取り組みを年度毎に策定し PDCA サイクルを徹底することにより事故の未然防止に努める。

輸送の安全に関する計画の策定。チェック、改善（Plan Do Check Act）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって事業を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

有限会社 スカイオート

代表取締役 舘 秀幸

輸送の安全に関する目標・実施結果

当社では、安全管理体制を構築させる為に全ての事故を計上し、原因を分析し対策を講じております。

2019年度の、輸送の安全に関する目標と達成状況は以下の通りです。

目 標	実施結果
1) 人身・重大事故：『ゼロ』 物損事故『ゼロ』の継続 2) 車内事故件数『ゼロ』の継続 3) 車両故障件数『ゼロ』	1) 人身事故・重大事故：0件 総事故件数：1件 2) 車内事故件数：0件 3) 車両故障件数：0件
4) 関係法令及び社内規程の遵守 飲酒運転根絶・薬物使用の厳禁 5) 苦情件数『ゼロ』	4) 飲酒：0件 交通法令違反：0件 薬物：0件 5) 苦情件数：1件
6) 社内安全体制の確立 外部関連機関指導下の実施訓練の継続 車両の構造の理解	緊急時の救命救護訓練：2回（8/5・12/23 消防署指導にて） 車両火災消火訓練・避難誘導訓練・非常用用具使用訓練実施 ：2回（8/5・12/23 消防署指導にて） 自動車事故対策講習：1回（12/23 警察署より講師派遣にて） バス構造の講習：1回（オーバーハング・死角・内輪差） 車両別動作特性把握（6/25） バス安全装置装備車の作動確認実走行訓練（7/25・1/27）

◆人身重大事故は『ゼロ件』で達成できました。

しかし、トータル事故件数が『1件』と1昨年から継続されていた無事故日数が675日で途絶えたことが残念でなりません、この1件の事故は帰庫後洗車場に車両をバックにて移動中、後方駐車中の車両に対する後部接触事故という帰庫時の心理的「安心感」により基本動作を怠った為に発生した事故でした。事故撲滅への取り組みの成果は確実に出ており、事故は一昨年比83.3%減少し意識改善が強く感じられる様になりました。

2020年度は、再度無事故達成を目指し運転者の適正診断や健康管理に係る診断結果の観察を行い、それに基づいての個人指導を強化し、無事故を図るべく、全力を挙げて取り組んでいく所存です。

- ◆車両故障件数達成の最大の要因は、保有車両の年式が新しくなってきたことと考えます。
社内の改善は「人・物・金」に対する改善と申しますが、前年度の故障の原因を追究していき
ました結果、乗務員及び整備担当者の努力だけでは改善不可能な部分があるとの判断によるも
のでした。
導入車両は下記の通りです。

大型車両

福島 200 か 2056

福島 200 か 2087

福島 200 か 2103

小型車両

福島 200 あ 620

- ◆飲酒運転については、アルコールチェッカーでの確認を重点とし、外部講師からの講話を戴き
その重要性を理解させ、『絶対しない』との意識の高揚を図りました。その結果、『ゼロ件』で
すが、気を引きしめ啓蒙活動を乗務員研修・文書の掲示等を通じ続けてまいります。
- ◆苦情件数の1件は乗務員の言動に対するものでした。どのような状況であっても、我々は「楽
しい旅行を提供する」という「サービス業」の精神を備えて業務に当たらなければならないこ
とを、乗務員研修の場で指導教育を行ってまいります。
- ◆社内安全体質の確立については、国土交通省・日本バス協会等の指針を踏まえ、万が一の有事
に備え、「お客様の安全を第一」とし、乗務員が冷静に対応できる様、そして、専門家のご指導
を得る為に、関係機関（警察署・須賀川消防署）様のご指導と協力を得、合同訓練や講演会を
聞き、安全に対する意識の向上を図るべく積極的に取り組んでまいりました。重大事故発生時
の対応訓練・救命救護訓練につきましては、8月5日、12月23日の2回にわたり訓練を行
いました。本年度は、乗務員も毎年訓練を重ね経験している為、毎回レベルアップした内容で訓
練が出来ました。課題は実際この様な事に直面した時に、訓練のように冷静に行動ができるか
どうかだけと思われまます。出来るだけ多くの訓練を重ね、お客様の安全確保に努めてまいりま
す。車両の構造把握については、車両の死角及び後部オーバーハングやフロント部の動きを実際
の車両を動かし数値を測定認識の勉強を行いました。又新しい安全装置の作動時の車両の動
きを体得する為の実走行訓練を夏場の乾燥路面と積雪路面等で行い、今後も定期的に知識習得
の機会を設け、格車両銘柄毎の車両特徴を習得し事故撲滅に努力する所存です。

輸送の安全確保をする為の取り組み

<行動計画>

- 1、安全管理（安全マネジメント）における PDCA サイクルの徹底。
 - ア、 ドライブレコーダー録画使用による指導教育の強化（4回/年）
 - イ、 車両の特性の再確認による事故防止強化。
 - ウ、 緊急時の対応訓練の継続。（年1回避難誘導訓練・救命救護訓練・非常用具の使用法）
 - エ、 路面状況に適した運転方法の訓練。（凍結路面・積雪路面・乾燥路面等）

- 2、関係法令及び社内規定の遵守
 - ア、 苦情原因の徹底解析。
 - イ、 運行区域内の危険個所の把握・グループ内事故原因の解析と対処法。

輸送の安全確保を目的として取り組んだ各種施策事項、以下の通りです。

- 1) 安全管理 『社長同席の定例会議の開催』1回/月
安全に対する意識をより向上させる為に、中堅管理職の指導と、責任感を養うことを目的とし、安全目標に対する状況を確認し、問題点改善に取り組み、乗務員研修の場において、全社員の意識の向上に取り組みました。

社長同席による安全定例会議



月度内の安全管理状況及び社内規定の遵守状況の報告と次月に対する対策（PDCA）

輸送の安全教育年間実施事項

1. 『専門家による安全講話』（2019年12月23日 9時30～11時00分）
講師 田村警察署 交通課長 大竹警部
内容
「法改正に伴う事項」
「地元地域の事故状況」

「脳梗塞・くも膜下出血等による体調急変に伴うバス事故を防止する為の対処法」
「ドライブレコーダーによる事項映像と分析」
上記の講話を聞き、安全に対し再認識しました。



2. 『車両の構造の理解』(2019年6月25日 9:030 ~ 12:00分)

内容 車両の構造と動作、死角の違いについて、基本的なことを学びました。「日野自動車」と「三菱フソウ」の車両ごとの動作の違いに応じた操作方法の心構え、死角の把握や車両別安全確認のポイントの再確認を行いました。



3. 『救命救護・避難誘導訓練・消火訓練』(2019年8月5日 9時30分~11時30分) 講師：須賀川消防署様 (2019年12月23日9時30分~12時)



4.『乗務員の健康管理』 専門家による指導(2019年12月25日 14時30分～15時30分)

講師 全国健康保険協会福島支部 保健師・衛生管理者 寒河江 由季 様

内容

<高血圧の予防>

- ・血圧って何? ・高血圧の種類 ・血圧が上がる原因 ・日常生活のポイント
- ・予防のための食生活 ・減塩対策 ・運動療法 ・禁煙とアルコールについて等

<安全運行は先ず自己の体調管理と真剣に学んでいる風景>

5. ドライブレコーダ録画使用による『ヒヤリ・ハットの検証』(乗務員研修時・都度)

報告のあった運行の対応と、例題による検証



<ドラレコの録画を利用した研修は個別指導としても行った>

6. 車両足回り総点検

点検業者：ブリヂストンタイヤセンター須賀川様 来訪にて(2019年10月7日)

点検場所：自社車庫及び第2駐車場



全車両のホイール・タイヤの損傷、充填エア、及び締め付けトルク状態の点検実施。

7. 『ドライビング講習会』実走行と乗降時安全確保

運転技術の評価と、乗降時の安全確保の訓練を行った。(2019年 7/25・ 2020年 1/27)



<運転技術評価と、乗降時安全確保の訓練風景・経験年数別にて実施>

8. 雪道走行訓練及び現場想定したタイヤチェーン装着訓練

積雪路上でのタイヤチェーン装着・積雪路面上での制動テスト、急ハンドル時のタイヤスリップ状況の確認を行いました。(2020年 1/27・2/12)

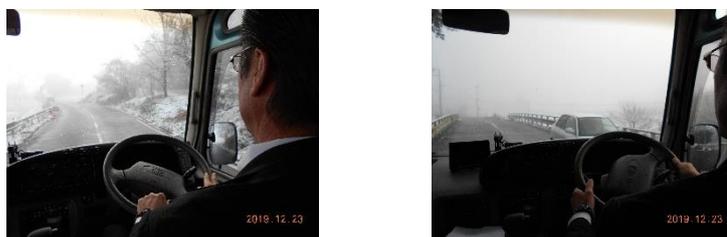


<雪上走行訓練及び現場でのタイヤチェーン装着訓練風景>

9. 異常気象時の走行訓練 「濃霧」時の走行訓練

濃霧時の訓練は朝の状況を確認し、緊急にて訓練を行った。

前方確認は、最高濃霧時は視界 10M 程となり前照灯を点等し速度を落とし最大の注意配分を行い実施した。



10. 『健康管理の方法』 個別相談 (2020年 1月14日)

健康指導保健師 : 全国健康保険協会 福島支部
森田 充子 氏



11. 健康管理の重要性

健康診断・SAS健診・脳検査終了後の個別面談を実施し、ドライバーの健康状態を対面で考え処置方法や仕事内容の方向性等を考え、安全運行を図った。



<健康状態の確認及び相談風景>

12. 緊急時避難誘導訓練 (2020年 3月3日 (有) 矢吹交通と合同にて訓練実施)

非常用具の使用 (発煙筒・三角停止表示板・消火器)・乗客の安全誘導・事務所へ通報



令和 2 年度 輸送の安全確保計画

【目 標】

1. 人身事故・重大事故『ゼロ』の継続
2. 車内事故件数『ゼロ』の継続
3. 事故全般件数 『ゼロ』675日超えへ挑戦
4. 関係法令に基づく社内規程の遵守
5. 社内安全体質の確立

【輸送の安全に関する重点計画】

1. 安全管理（安全マネジメント）PDCA サイクルの取り組み確認と改善
2. 輸送の安全に向けた教育の年間計画を作成し、実施いたします
 - 1) ドライブレコーダ録画参照による乗務員指導（乗務員研修及び個人指導 4 回/年）
 - 2) 路面状況に適した安全運転方法の訓練（夏・冬半期毎 1 回/人）
 - 3) 緊急時対応訓練（救急・救護・避難誘導・消火・非常用用具）（年 1 回）
 - 4) 車両の特性の掌握による事故防止強化（オーバーハング・内輪差・死角）
 - 5) ドライバーの体調及び精神的コンサルティング（半期毎 1 回）
 - 6) 事故惹起者への指導（随時）
 - 7) 外部講習受講にて乗務員の知識習得及び意識改善（NASVA 指定）
 - 8) 苦情報告と指導（都度）
3. 関係法令及び社内規定の遵守
 - 1) 交替運転手の配置基準（時間の掌握）
 - 2) 道路運行法の再確認

安全マネジメント実施計画(令和2年度)

① 事業用自動車を運転する心構え ② 運行の安全及び旅客の安全を確保するための基本事項: 毎月実施事項

期日	指導時間	実施内容	外部講師
4月	180分	③車両の構造上の特性 ⑥運行の路線及び交通状況の把握 ⑨生理的要因・心理的要因による交通事故についての理解 ⑩健康管理の重要性 ※車両の構造とトラブル防止についての指導 ※通学路の状況とその検証(幼児・児童等の安全確保) ※前年度の事故を検証する ※ドライバー健康状態の把握とフォロー	
5月	180分	④乗客の安全確保 ⑦危険の予測及び回避 ⑧運転者の適性にじた安全運転 ⑬安全装置を備えた貸切バスの適切な運転方法 ⑪異常気象時の対応 ※シートベルトの重要性 ※運転中の体調急変時の対応(脳梗塞、くも膜下出血等) ※エコドライブ実走行訓練 ※貸切バスの安全装置作動時の運転方法習得 ※異常気象時マニュアル再確認	路上訓練 路上訓練
6月	180分	⑤乗降時の安全確保 ⑦危険の予測及び回避 ⑫非常用・非常口・消化器の使用 ⑭ドライブレコーダー録画を利用した安全運転指導 ※乗降時での安全確保についての社内アナウンスと訓練 ※事故検証と再発防止対策 ※緊急時の対応策 ※ドライブレコーダー録画(ヒヤリハット・車間距離・法令遵守等)	
7月	240分	③車両の構造上の特性 ⑦危険の予測及び回避 ⑧運転者の適性にじた安全運転 ⑩健康管理の重要性 ※貸切バスの走行特性把握(内輪差・オーバーハング・死角) ※危険予知の例題に基づいて検証 ※適正(適齢)診断の結果に対する指導 ※デジタコ記録による運転状況結果に対する指導 ※睡眠時無呼吸症候群の個別検査	医療機関
8月	240分	④乗客の安全確保(救命・救護訓練) ⑦危険の予測及び回避 ⑪異常気象時の対応 ※消防署指導による緊急時の消火訓練・避難・救急訓練 ※危険予知の例題に基づいて検証 ※異常気象時の緊急対応	消防署
9月	180分	⑤乗降時の安全確保 ⑦危険の予測及び回避 ⑨生理的要因・心理的要因による交通事故についての理解 ⑭ドライブレコーダー録画を利用した安全運転指導 ※乗務員・ガイドのすべき事 ※運転中の車両トラブルについて ※上期の交通事故分析 ※ドライブレコーダー録画(ヒヤリハット・車間距離・法令遵守等)	
10月	180分	③車両の構造上の特性 ⑥運行の路線及び交通状況の把握 ⑦危険の予測及び回避 ⑨生理的要因・心理的要因による交通事故についての理解 ⑩健康管理の重要性 ※冬に備えてのタイヤチェーン全車両点検 ※上半期の事故状況とその検証 ※危険予知の例題に基づいて検証(ドライブレコーダーによる検証) ※飲酒運転の罰則 ※異常気象時の対応と連絡	
11月	180分	④乗客の安全確保 ⑦危険の予測及び回避 ⑨生理的要因・心理的要因による交通事故についての理解 ⑪異常気象時の対応 ※乗降口での安全確保についての社内アナウンスと訓練 ※危険予知の例題に基づいて検証 ※接客サービスと車内挨拶の検証 ※異常気象時の対応と連絡	
12月	180分	⑤乗降時の安全確保 ⑦危険の予測及び回避 ⑨生理的要因・心理的要因による交通事故についての理解 ⑭ドライブレコーダー録画を利用した安全運転指導 ※乗降時の安全確保(雪や雨の日) ※危険予知の例題に基づいて検証 ※自分の体調は万全か把握し健康を保つ(健康診断の結果) ※ドライブレコーダー録画(ヒヤリハット・車間距離・法令遵守等)	
1月	180分	③車両の構造上の特性 ⑥運行の路線及び交通状況の把握 ⑦危険の予測及び回避 ⑨生理的要因・心理的要因による交通事故についての理解 ⑩健康管理の重要性 ※バスの構造を検証する ※デジタコ操作の誤入力の結果・指導 ※危険予知の例題に基づいて検証 ※交通事故に対する直接的要因・間接的要因を把握する ※健康診断の結果に伴う個人面談	カーディーラー 協会けんぽ

2月	④乗客の安全確保(雪上走行研修) ⑦危険の予測及び回避 ⑧運転者の適性に応じた安全運転 ⑬安全装置を備えた貸切バスの適切な運転方法 ⑪異常気象時の対応	240分	※非常口の開閉の仕方 ※危険予知の例題に基づいて検証 ※降雪時、積雪路面・凍結路面の実走行訓練(ブレーキ・アクセル・急ハンドル) ※貸切バスの安全装置作動時の運転方法習得 ※DVD鑑賞(悪天候時の対応策検証)	路上訓練 路上訓練
3月	⑤乗降時の安全確保 ⑦危険の予測及び回避 ⑨労務関係研修(交替運転者の配置基準) ⑭ドライブレコーダー録画を利用した安全運転指導	180分	※乗降口での安全確保についての車内アナウンスと訓練 ※危険予知の例題に基づいて検証 ※交替運転手の時間報告・時間と距離 ※ドライブレコーダー録画(ヒヤリハット・車間距離・法令遵守等)	

有限会社スカイオート

2020年度 事故防止重点実施事項

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・春の交通安全運動 4/6～4/15 ・かもしれない運転の励行 ・新入学児童、老人に対する思いやり運転
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習旅行シーズンの事故『ゼロ』達成宣言 ・一時停止の厳守と車間距離の確保
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・シートベルト強化 6/1～6/30
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動 7/16～7/25 ・車間距離確保「飛び石・追突防止」
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・過労運転による事故防止「体調管理、十分な睡眠確保」
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の交通安全週間 9/21～9/30 ・運行速度厳守 ・思いやり運転と社内規程の遵守
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・構内、駐車場での事故防止「オーバーハングの左右」
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・構内、駐車場での事故防止「バック時」
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始の交通事故防止 12/10～1/7 ・雪道走行の事故防止「早めのブレーキ」
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・運転時の携帯電話厳禁
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・凍結路面の事故防止「路面に合った走行速度」
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・運転初心者の車両動向に注意「予測運転励行」